

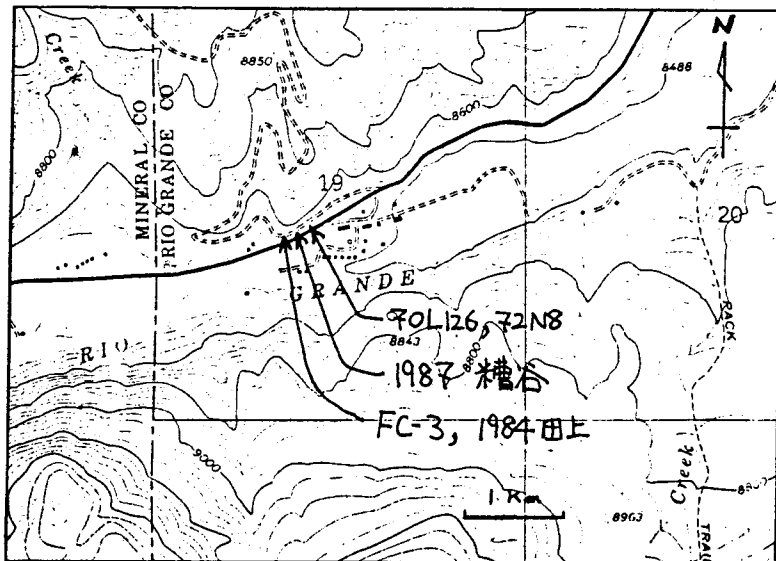
年代標準試料Fish Canyon Tuffの配布について

檀原 徹 (株式会社京都フィッシュン・トラック)

フィッシュン・トラック研究者の間において、年代標準試料として現在世界で最も広く利用されているFish Canyon Tuffの岩石試料を、槽谷正雄氏が米国から送ってくれました。同氏は、昨1987年9月から約1年間の予定で米国地質調査所(コロラド州デンバー)同位体地質学部門のNaeser研究室に滞在中であり、快くサンプリングに応じてくれたものです。今回の試みは、有志数名による個人的な企画が発端で、それに関わるすべての事務処理を私が一括して引き受けるということでスタートしました。ところが、Naeser氏より輸送費用をU.S.G.Sで負担するのと交換に、全採取試料270kg中54kg(20%に相当)に含まれるジルコン・アパタイト結晶の抽出・送付の提案があったのを皮切りに、F T年代測定以外の年代測定研究者などを含む試料分与の依頼が相次ぎ、逐次それに依拠してきました。以上は12月19日のF T研究会でお話しした通りです。その後残余試料(約50kg)を本研究会の手で管理し、より広く有効に利用していただきたいと考え、1988年1月末日をもって当方で行っていた個人的な試料管理と配布などの事務処理を終了し、それまでの全経費を配布重量等に応じ各人に公平に負担していただくように連絡いたしました。したがって、上記残余試料は今後本研究会の手で管理し、より広く活用されることと存じます。

記

1. 試料名 : Fish Canyon Tuff (87K Nと呼ぶことを提案します。)
2. 採取者 : 槽谷正雄
3. 採取年月 : 1987年10月
4. 採取重量 : 270kg
5. 採取地点 : コロラド州 South Fork の南西9km, U.S.Highway 160沿い
緯度・経度 (37° 36' 40" N, 106° 42' 17" W)



槽谷氏によれば、左図で70L126と72N8は同地点、FC-3 (Naeser et al. 1981)はそれより約300m西寄り、それぞれ一連の路頭の東端と西端に位置します。今回採取された87K N試料は両者の中間付近に位置することです。

←1/62,500地形図 Beaver Creek Reservoir, COLO. (U.S.G.S刊行)と槽谷氏による採取地点のメモ。

6. 採取層準 : Dr.Naeserによれば、上記3つのいずれかのポイントにせよ同じフロー・ユニットであり、採取地点の違いは全く問題にならないとのことです(槽谷私信)。
7. 補 足 : 採取地点の地図や路頭写真、および今回作成した試料の岩石薄片など若干の資料があり、希望者にはお見せできます。

以 上